

多機能型障がい児指定通所支援事業所 ひまわり
児童発達支援 自己評価表集計結果 報告書

先に実施したアンケート調査について、集計した結果を報告します。

6 調査の目的

「児童発達支援ガイドライン」に基づき、1年に1回程度、事業者向け、保護者向けの自己評価（アンケート）を行ってもらい、その結果を踏まえて、事業運営の改善を図るものとする。

7 調査期間

平成30年11月26日（月）～12月31日（月）

8 調査対象

- (3) ひまわり（児童発達支援）をご利用中のご家庭4世帯
- (4) ひまわりに従事する職員（看護師2名、児童指導員1名、保育士1名、計4名）

9 調査方法

- (1) 保護者へ利用時に調査票（保護者向け）を手渡し配布。または郵送で配布。無記名で記入後、回収。
- (2) 職員4名に調査票（事業者向け）を配布、無記名回収。

10 回収状況

回収数（保護者向け3票 事業者向け4票）
有効票数（7票） 有効回収率（87%）

保護者からあげられましたご意見を、項目ごとに見ていきます。
保護者からご意見欄へのコメントはありませんでした。

[環境・体制整備]

3名 全問 はいと回答

[適切な支援の提供]

⑤～⑧3名全問 はいと回答

⑨保育所等との交流や障害のない子どもと定期的に接する機会があるか
2名 はいと回答 1名 わからないと回答

[保護者への説明]

⑩～⑭ 3名 ほぼ全問 はいと回答

⑮ 父母会の活動支援や、保護者会等により保護者同士の連携が支援されているか
1名 どちらともいえないと回答

⑩～⑫ 4名 ほぼ全問 はいと回答

⑬ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか

1名 どちらともいえないと回答

ひまわり利用の児童発達支援事業の保護者は、保護者同士で情報をやり取りしている方が多い。

日常会話の中で他の利用者の個人情報を安易に話さないよう気を付けてはいるが、個人情報への意識や注意が十分でなかった為このような結果が出たと思われる。

[非常時の対応]

4名 ほぼ全問 はいと回答

⑭ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか

ひまわり利用者は毎日利用していないため、避難訓練日にあたらなければ出来ない状況にあるが、利用日が重なった際は一緒に行っている。

[満足度]

⑮ 子どもは通所を楽しみにしているか

全員「はい」と回答

⑯ 事業所の支援に満足しているか

全員「はい」と回答

<アンケート結果について(まとめ)>

児童発達支援の保護者がひまわりを利用する一番の目的はレスパイトが多い状況です。保育園に毎日通えないケースに対し保護者の負担軽減のため、ひまわりで安全にお預かりする事が求められています。

個人情報の保護について徹底していきたいです。

多機能型障がい児指定通所支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービス 自己評価表集計結果 報告書

先に実施したアンケート調査について、集計した結果を報告します。

1 調査の目的

「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき、1年に1回程度、事業者向け、保護者向けの自己評価（アンケート）を行ってもらい、その結果を踏まえて、事業運営の改善を図るものとする。

2 調査期間

平成30年11月26日（月）～12月31日（月）

3 調査対象

- (1) ひまわり（放課後等デイサービス）をご利用中のご家庭4世帯
- (2) ひまわりに従事する職員（看護師2名、児童指導員1名、保育士1名、計4名）

4 調査方法

- (1) 保護者へ調査票（保護者向け）を郵送にて配布。無記名で記入後、回収。
- (2) 職員4名に調査票（事業者向け）を配布、無記名回収。

5 回収状況

回収数（保護者向け3票 事業者向け4票）

有効票数（7票） 有効回収率（87%）

保護者からあげられましたご意見を、項目ごとに見ていきます。

いいえ、どちらともいえないに返答が多かった項目や、ご意見を記載します。

【環境・体制整備】

① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

身体が大きくなってきている利用者3名が狭いと回答。

「もう少し広ければと思う」「少し狭いかなと思う時がある」「バギーごと入ると、横になるスペースはせまい」

② 職員の配置数や専門性は適切であるか

1名 適切でないと回答

「男性介助職員がいた方が良いと思う。(看護師の負担が大)」

③ 事業所の設備はバリアフリーなどの配慮が適切か

1名 どちらともいえないと回答

「屋根があると雨天時助かる。」

[適切な支援の提供]

④ 子どものニーズや課題が客観的に分析された上で計画が作成されているか。

いいえ に回答された方のご意見

「長期休みだけでなく、平日の放課後デイサービス（学校までのお迎え等）の必要性」

⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。

3名 はいと回答

⑥ 児童館などとの交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

3名 いいえと回答

「そういう機会にあったことはありません」

[保護者への説明]

⑦ 支援内容、利用者負担についての説明

3名 はいと回答

⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか

2名 はいと回答 1名 どちらともいえないと回答

⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行なわれているか。

2名 はいと回答 1名 どちらともいえないと回答

⑩ 父母の会の活動支援など

3名 はいと回答

⑪ 子どもや保護者からの苦情について適切に対応しているか

3名 はいと回答

⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮

2名 はいと回答 1名 どちらともいえないと回答

⑬ 会報やホームページの発信

3名 はいと回答

⑭ 個人情報への十分な注意

3名 はいと回答

[非常時の対応]

どちらともいえないと回答が1名

[満足度]

⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか

2名 はいと回答 1名 どちらともいえないと回答

「利用するといつも楽しそうで親もとても嬉しく思っています」

⑩事業所の支援に満足しているか

1名 はいと回答 2名どちらともいえないと回答

「放課後デイが利用できるといいなと思っています」

＜アンケート結果について（まとめ）＞

活動場所のスペースが狭いこと、放課後も利用したいというご意見はいつも出ており、不自由さを感じていると思います。

移乗時等は、第二コスモスの職員へ声をかけ、男性職員が入ることもありますので、引き続き事業所内で協力体制を作っていきたいと思います。

今回細かいアンケートにより出て来た課題については現場及び法人内でも見直しを検討していきたいと思います。

ひまわり 事業所（支援者）向け アンケート調査結果

質問に対しての事業所の現状を記入しました。

【環境・体制整備】

全問 適切と回答

- ・現在平日は1~2名/日、長期休みは1~3名/日の利用がある。
- ・他の事業所が放課後デイなどの事業を始めた事で利用者が分担されるようになり、利用者の人数を調整できるようになった。
- ・利用者1名に対し職員1名で支援することが出来ており、配置数は適切と考える。

【業務改善】

○自己評価結果及び改善策をホームページ等で公開しているか

1名いいえと回答

- ・昨年度より、HP にアンケート結果を公開しているが、職員間でも周知されていないということなので、再度全職員に通知した。今回のアンケート結果は3月中にHPに掲載予定。

【適切な支援の提供】

○活動プログラムの立案をチームで行っているか

1名どちらともいえないと回答

- ・チームでなく担当者が作成。支援者に回覧し確認見直しを行ってもらっている。

○活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

1名どちらともいえないと回答

- ・第二コスモスの音楽療法やPTによるリハビリなどに参加している。

○ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている

1名どちらともいえないと回答

【関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携】

○障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している

- ・相談支援専門員だけでなく現場の支援者も参画していきたい。

○児童発達支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか

1名どちらともいえないと回答

- ・研修には積極的に参加している。職員会などを通じ、研修内容が他の支援者にも共有されるよう進めていく。

○保育所や幼稚園、放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

3名いいえと回答

- ・第二コスモスの利用者との交流のみである。

○ペアレントトレーニングの支援を行っているか

2名いいえと回答

[保護者への説明責任]

○父母の会や保護者会の活動支援を支援しているか

2名どちらともいえないと回答

- ・保育所や学校以外の集まりの場、また保護者会等にもできる限り参加するようにしている。

[非常時の対応]

○身体拘束についての事前の説明や了解を得たうえでサービス計画に記載しているか

- ・現在の利用者で身体拘束該当なし。

○ヒヤリハット事例を事業所内で共有しているか

1名はいと回答

- ・情報を共有し、原因と対応策を提示し再発防止に努めた。

3月8日 13時30分 ひまわり担当職員による結果に対する情報共有と意見交換実施
担当職員 5名参加

結果に対する情報共有後に、意見として出されたもの

- ・学校や他の事業所へ定期的に訪問の機会を作り、学校や他の事業所での様子を情報共有したい。ひまわりに関わるスタッフ全員が見学できるよう調節していく。